

2013年度は、2011年度～2013年度の活動計画を示した中期計画「FUNN20th」の3年目として、重点施策である「国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働」「財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展」に重点を置き、活動を実施しました。

■「国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働」

『市民に向けた国際協力活動の理解啓発、参加促進のための事業の展開』『行政とNGOの意見交換の場作り』

2013年度は、国際協力に関心を持っていても具体的な行動に結びついていない市民が、FUNNの事業への参加や職員との対話・相談などを通じて、継続した関心や活動への参加につながるよう意識しました。

■「財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展」

『財源の多様化と経営の安定化のために取り組み』

2013年度は、自主事業収入の増加や経営の安定化を目指した議論・取り組みを行いました。根本的な解決のためには引き続きの議論・取り組みが必要となりますが、これからの活動を考えていくための機会となりました。

事業報告 目次

- 1 2013年度事業別報告
 - 1-1 NGOへの支援・協力・サポート
 - 1-2 国際協力に関する調査・研究、政策提言活動
 - 1-3 国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働
 - 1-4 広報活動の支援・実施
- 2 財政基盤の強化
 - 2-1 財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展
- 3 組織・運営の強化
 - 3-1 人材の確保・育成、組織運営の基盤強化
- 4 組織
 - 4-1 組織運営・体制
 - 4-2 会員

1. 2013年度事業別報告

1-1. NGO（主に加盟団体）への支援・協力・サポート

1-1-1. 2013年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2013年度の活動

① 助成金、NGO活動に資する情報の提供

■ 情報提供や人材紹介

・実施内容

主にメールを通して、研修などのイベント情報、助成金情報、声明や賛同に関する情報などの提供を行いました。また、FUNN独自にも情報収集を行ない、メール等による配信・案内を行いました。

・成果／課題

他団体からの情報（特に国際協力NGOセンターからの情報）を滞りなく配信することができました。一方で、FUNN独自の情報収集はどの範囲・分野をどの程度まで精査していくかについての決まりがなく、積極的な配信にはなりませんでした。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

・実施内容

メール、ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、メールマガジン、機関紙などを通して、加盟団体の情報を市民に発信するための支援を行いました。

・成果／課題

加盟団体からの情報を滞りなく配信することができました。しかし、メールやメルマガで情報を発信する際のフォーマットが整備されていないため、FUNNにどのように情報を伝えれば良いのか？という疑問や手間が発生しており、改善の余地があります。

③ 加盟団体NGOの組織・能力強化の支援

■ NGO研究会「ジェンダーとNGO」

・実施内容

ジェンダーに関するNGOの理解を深め、活動における実施能力を育成するために、（公財）ケア・インターナショナルジャパンが実施した「外務省NGO研究会」のセミナー地方開催の受け入れ協力を行いました。

日時：2013年8月24日（土）14:00～16:00

会場：福岡市人権啓発センター「ココロセンター」

参加者：8名



▲講師の織田さん

講師：織田由紀子さん（北九州サステナビリティ研究所）

・成果／課題

加盟団体を中心とした事前のアンケートでは、ジェンダーという言葉の意味を理解したり、聞いたことがあるというNGOは多くいましたが、具体的な意味やジェンダー主流化に関する取り組みを行う団体はほとんどいませんでした。しかし、受講後のアンケートでは事例を多く取り入れた内容でわかりやすくジェンダーに関する知識を習得することができたという声が聞かれました。また、女性と男性の参加者のバランスも良く、多様な参加者が来ていたのが特徴的であり、多様性の尊重という点でも有益なセミナーとなりました。

■ スタディツアー危機管理セミナー

・実施内容

スタディツアーの危機管理、安全管理を中心に旅行業法、危機管理の基礎、安全管理マニュアルづくりなどを学ぶために、（特活）地球の友と歩む会がJICA地球ひろばから委託した「スタディツアーの安全管理・旅行業法セミナー」の地方開催の受け入れ協力を行いました。

日時：2014年1月18日（土）～19日（日）

会場：リファレンス駅東ビル V-6 会議室

講師：米山敏裕さん（スタディツアー研究会代表）、山田和生さん（（株）マイチケット）

・成果／課題

当日は加盟団体を中心に、スタディツアーを実施している・実施を検討しているNGOに参加していただきました。なぜ旅行業法遵守が必要か、旅行業法と安全管理の講演や、FUNN事務局長の原田君子による九州のNGOのスタディツアー安全管理に関する事例紹介、架空のツアーを題材にした安全管理マニュアルづくりなどを行い、危機管理と安全管理について理解を深めていただくことができました。

■ 能力向上支援

・実施内容

JICA地球ひろば「地域NGO提案型研修」に申請し、地域のNGOの活動環境整備に寄与する事業を企画、実施を予定していましたが、手続きの関係から2013年度内に実施することができませんでした。

■ 広報診療所

・実施内容

広報に関する学びや広報に関する課題解決を目指すためのセミナー開催や個別相談等を予定していましたが、実施することができませんでした。

1-2. 国際協力に関する調査・研究、政策提言活動

1-2-1. 2013年度の方針

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みま

す。

1-2-2. 2013年度の活動

① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ NGO研究会「ポストMDGsと国際協力」

・実施内容

2000年のミレニアム宣言を受けて策定されたミレニアム開発目標(MDGs)に代わる、2016年以降の開発目標である「ポストMDGs(ポスト2015年開発目標)」策定プロセスに国際協力NGOが関わり、より良い事業実施や提言活動の強化を達成するため、策定プロセスに市民社会組織の一員である国際協力NGOが関わることの意義を伝え、NGOが果たすべき役割について議論することを目的として開催するシンポジウムの受け入れ協力を行いました。

日時：2013年12月14日(土) 14:00～16:30

会場：リファレンス駅東ビル P会議室

参加者：17名

講師：稲場雅紀さん(動く→動かす)、堀内葵さん((特活)国際協力NGOセンター)、藤井大輔さん(債務と貧困を考えるジュビリー九州)

・成果/課題

学生、教員、NGOスタッフ、NPO関係者、一般などの多様な層の参加がありました。地方では国際的な会議や議論に参加することが難しく、自分たちの活動と結びつけることが難しいという課題があります。そうした中で、特に藤井大輔さんの講演によって、自分たちの専門を各NGOが考えてそれを自分たちだけでなく外にも共有していくこと、政策を変えるのは自分たちだと思いうように福岡の人たちをエンパワーメントしていくことなどで、福岡のNGOや人々が全世界の人たちと共に世界を作ることができるのだ、という意識を持つことができたという参加者の声を聞くことができました。



▲講演の様子

■ 秘密保護法NGOアクションネットワーク

・実施内容

特定秘密保護法の法律の内容上の欠陥と国会審議のあり方を問題視し、全国で活動する複数のネットワークNGOは、2013年11月13日に法案の廃案を求める要請書を、12月9日には法律の成立に抗議する声明を連名で発表しました。

また、施行・運用の段階へと進む特定秘密保護法に対応するため、国際協力NGOが相互に協力する仕組みとして、「秘密保護法NGOアクションネットワーク」を結成するための準備会を設立し、FUNNも参加しました。

・成果/課題

複数回の準備会での議論を経て、2014年4月1日に「秘密保護法NGOアクションネットワーク」を設立することができました。今後は、福岡や九州における秘密保護法に関する市民の動向をチェックしながら、

他団体・他分野のネットワークなどとの連携も意識した情報収集を行っています。

1-3. 国際協力に関する市民・行政・企業との連携・協働

1-3-1. 2013年度の方針

これまでの活動によって培われた多様なセクターとの関係性を維持させながら活動に取り組んでいきます。

1-3-2. 2013年度の活動

① 地域社会への国際協力に関する学習機会の提供

■ 倶楽部FUNN

・実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を毎月開催しました。また、4月（お花見）、9月（暑気払い）、12月（忘年会）、1月（新年会）の4回を交流会として開催しました。

日にち	タイトル	講師	場所	参加者数
4月5日（金）	「新年度交流会」	なし	びおとーぷ	24名
5月10日（金）	「青年海外協力隊ウガンダでの活動～しっかりした現地NGOを見分ける3つのポイント～」	大淵絵斗さん（元 FUNN インターン・青年海外協力隊員 OB）	びおとーぷ	17名
6月21日（金）	「ビルマ(ミャンマー)：円借款再開は誰のため？軽視される住民の生活」	土川 実鳴さん(メコン・ウォッチ委託研究員 ビルマ担当)	びおとーぷ	17名
7月19日（金）	「アジアゲートウェイの福岡で韓国との架け橋になりたい韓国人の話」	成永旭（ソン・ヨンウク）さん(株式会社ソーム)	びおとーぷ	7名
9月13日（金）	「夏の交流会！」	なし	ベトナム料理「Sai-Gon サイゴン」	7名
10月4日（金）	「女性たちが未来をつくる！in 南インド」	大水 希望さん（FUNN インターン）	びおとーぷ	15名
11月1日（金）	「スリランカで見た人との繋がり - people's process-」	岩熊早央里さん（西南学院大学3年生） 堤敦美さん（福岡女子大学3年生） 伊東洋平さん（北九州	びおとーぷ	17名

		市立大学 4 年生)		
12 月 13 日 (金)	「FUNN 大忘年会！ ～多国籍料理を楽し みながら 1 年を締めく ろう～」	なし	びおとーぷ	13 名
1 月 17 日 (金)	「FUNN な新年会！」	なし	びおとーぷ	7 名
2 月 14 日 (金)	「パヤタス、レイテ島の 人々との出会い」	青木雅詠さん（西南学 院大学法学部国際関係 法学科 3 年・NPO 法人ソ ルト・パヤタス 2 0 1 3 年 度マニラ事務局インター ン）	びおとーぷ	11 名
3 月 14 日 (金)	「非日常」な日常。－ 日本を離れて分かるこ と、ミクロネシア（チュ ーク島）からの視点－	松永広大さん(JICA 九州 国際協力推進員（JICA デスク福岡）)	びおとーぷ	14 名

・成果／課題

これまでに国際協力関連のイベントに参加したことがないという方の参加も多く、国際協力に参加する初めの一步の場としての役割を果たすことができました。

一方で、講師の選定・依頼・広報が遅れてしまうという問題や、参加者数の減少、参加メンバーの固定化などの課題も挙げられます。



▲4月の回では記念撮影をしました



▲幅広い方の参加があります

■ NGO入門講座

・実施内容

国際協力の理解・参加促進を目的に、グローバルイシューや国際協力のアクター等を取り扱うビギナー向けの講座を5月から毎月開催しました。2013年度は5月から3月まで計11回開催し、合計14名の方に参加いただきました。

・成果／課題

参加者と講師の距離を近くすることで、疑問質問に気軽



▲インターンも発表します

に応じることができたり、入門講座後のボランティアやイベントの紹介を丁寧に実施できるといった少人数定員ならではのメリットを存分に活かすことができました。

課題としては、「国際協力のイベントに参加したことがないような潜在関心層」へのアプローチが挙げられます。

■ NGOカレッジ

・実施内容

国際協力の理解・参加促進を目的に、グローバル 이슈を学び、社会における一人ひとりの役割について考え、判断・行動できる人材を育てる連続講座を開催する予定でしたが、実施することができませんでした。

■ 国際協力・NGO活動担い手育成事業「国際キャリアデザイン研修」

・実施内容

国際協力分野の仕事への理解を深め、情報や人的ネットワーク、将来のキャリアプランを構築することを目的に、国際協力分野での就職に関心のある市民を対象とした研修を開催しました。2013年度は、大学生7人、社会人5人の合計12人が参加し、およそ2ヶ月間のプログラムを実施しました。

(1) 講座

日にち	タイトル	講師	場所
6月7日(金)	緊急特別企画 ACE 白木×ソルト小川「社会貢献を仕事にする」	白木朋子さん(認定 NPO 法人 ACE 事務局長)、小川恵美子さん(NPO 法人ソルト・パヤタス 事務局長)	福岡市人権啓発センター「ココロセンター」研修室
8月25日(日)	ステップ1 国際協力を知る 国際協力とキャリア	小田哲也さん(NPO 法人箱崎自由学舎 ESPERANZA 代表)	福岡県 NPO・ボランティアセンター会議室
8月31日(土) ～9月1日(日)	ステップ1 国際協力を知る 宿泊研修	山村塾、NPO 法人 NICE 九州事務局	福岡県八女市黒木町
9月8日(日)	ステップ1 国際協力を知る 国際協力入門	香川顕夫さん(九州大学 国際国流推進室 特任教授)	福岡県 NPO・ボランティアセンター会議室
9月15日(日)	ステップ2 国際協力の仕事を学ぶ 国際協力仕事図鑑	藤瀬伸恵さん(認定 NPO 法人地球市民の会)、南和恵さん(独立行政法人国際協力機構九州国際センター総務課主任調査役)、星野幸代さん(国連ハビタット福岡本部 本部長補佐官)	福岡学生交流会館 大会議室
9月21日(土)	ステップ2 国際協力の仕事を学ぶ	鈴木史さん(グローバル・ヴィレッジ 企画/マーケティング・マネージャ)	福岡 NPO 共同事務所「び

	国際協力仕事図鑑	ー)	おとーぷ」
9月29日(日)	ステップ3 キャリアを考える キャリアプランの考え方	松尾沢子さん(特活)国際協力 NGOセンター広報グループマネ ージャー)	福岡市人権 啓発センター 「ココロセンタ ー」研修室
10月13日 (日)	ステップ3 キャリアを考える キャリア相談会	藤井大輔さん(九州国際大学国 際関係学部准教授)	福岡 NPO 共 同事務所「び おとーぷ」
10月20日 (日)	ステップ3 キャリアを考える まとめ/修了式	なし	福岡市 NPO・ ボランティア交 流センター「あ すみん」

※「ステップ1 国際協力を知る 宿泊研修」は台風の為、中止となりました。



▲第1回目の様子



▲講師を囲んでフリートーク

(2) 特別ステップ 職場訪問

日にち	訪問先	内容
9月11日(水)	国際連合人間居住計画(ハビタット)福岡本部	施設見学、事業概要説明、職員との対談
9月20日(金)	独立行政法人国際協力機構九州 国際センター(JICA九州)	施設見学、事業概要説明、協力隊体験 談、ワークショップ、ワールドランチ
10月12日 (土)	一般財団法人カンボジア地雷撤去キ ャンペーン	施設見学、事業概要説明、職員との対談、 街頭募金体験

(3) 特別ステップ 交流会

日にち	場所
9月4日(水)	福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」
9月25日(水)	福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」
10月9日(水)	福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」



▲JICA 九州訪問の様子



▲ハビタット訪問の様子

・成果／課題

2年目となった本事業ですが、1年目の課題（目的・成果のコンパクト化、参加者のモチベーション維持など）を解消するための工夫（ねらいや目標をコンパクトにしたこと、講座を毎週末開催して全日程を2カ月程度にして中だるみを防いだこと、参加者によって異なるレベルや獲得目標を把握した上での個別フォローなど）に取り組むことができました。

一方で、「国際協力の世界に踏み込むことは容易ではない」という視点を研修の1～2回目という早い段階で参加者に伝えたり、現実的なキャリアプランを考える重要性も散りばめたことで、「国際協力を仕事にすることは容易ではない」という考えを早期に抱かせてしまいました。期待や理想ばかりを抱かせて発破をかけることによる問題もありますが、今回の研修では現実的な視点・話題が多くなってしまいました。国際キャリアデザイン研修の狙いとして夢と現実のバランスをどのように取っていくか、ということを考えさせられました。

また、企画・調整・運営・報告など、担当職員の従事時間数が多いことも課題として挙げられます。

■ NGO人材育成研修「スキルアップ研修」

国際協力分野で働く際に必要となる具体的な知識やスキルなどを得るための研修を開催する予定でしたが、実施することができませんでした。

■ スタディツアー

加盟団体と協力して、NGOの活動地や途上国の現場、歴史、文化等を学ぶスタディツアーを開催する予定でしたが、実施することができませんでした。

② 行政・教育機関・地域社会との連携

■ 外務省「NGO相談員」

・実施内容

外務省NGO活動環境整備支援事業『NGO相談員』を受託し（2013年5月～2014年3月31日）、市民からのNGO、国際協力に関する相談業務を行いました。2013年度は337件の相談に対応しました。

また、平成25年度第2回NGO相談員連絡会議の地方開



▲相談員連絡会議の様子

催を受け入れ、運営団体として会議の企画・講師調整・当日運営・報告書の作成を行いました。会議では、「NGO相談員制度の改善」「JICA、国際協力推進員とNGO相談員間の連携」「韓国の社会的企業家から学ぶ社会課題解決ビジネス」「CSR、ソーシャルビジネスに関する相談事例と対応の共有」「福岡のNGO/NPOからのお悩み相談会」などのセッションを設定しました。

・成果／課題

相談傾向としては、大学生からの相談が41%と圧倒的に多く、次いでNGO関係者からの相談が19%、教員と会社員が8%と続いています。相談内容としてはNGOやNGO活動に関する相談が24%、インターンや就職に関する相談は23%、国内ボランティアに関するものが7%になっています。

12年度は年間462件、11年度は558件、10年度は537件の相談で、近年は相談件数が減少傾向にあります。相談員制度の存続のためにも、相談員事業の周知、相談件数の増加が求められています。

■ NGO相談出張サービスおよび各種イベント参加

・実施内容

市民からの相談対応、他団体や来場者との交流を目的に、各種イベントに積極的に参加・出展を行いました。

(1) 出張サービス

日にち	企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
6月1日(土) ～2日(日)	国際協力宿泊型セミナー	JICA九州 JICA デスク福岡	JICA九州	35名
7月7日(日)	ユナイテッドピープル映画祭	ユナイテッドピープル映画祭実行員会	gate's 8F (映画祭特設会場)	700名
10月19日(土)	「国際理解教育セミナー」ワークショップ体験DAY	JICA九州 JICA デスク佐賀	アイスクエアビル 5階大会議室	16名
11月9日(土)～10日(日)	国際協カフェスタ「地球市民どんたく2013」	「地球市民どんたく2013」実行委員会、公益財団法人福岡国際交流協会	アクロス福岡 2階「交流ギャラリー」	1,000名
11月25日(月)	VCN 福岡 11月学習会	ボランティアコーディネーターネットワーク福岡	福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」セミナールーム	11名
12月11日(月)	フェアトレードセミナー&講演会	福大 学生チャレンジプロジェクト	福岡大学 新中央図書館 1F 多目的ホール	50名
1月22日(水)	玄洋高校出前ボランティア講座	福岡県立玄洋高等学校、福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」	福岡県立玄洋高等学校	36名

2月15日 (土)	第2回ユメトーク@九州	キャッチ THE キッカケ project	電気ビル 共創館 カンファレンス 3F 大会議室 A	100名
2月15日	ふくおか NPO・ボランティアふえすた 2014	福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市市民局市民公益活動推進課	福岡市役所 1階ロビー内多目的スペース	50名

(2) イベント出展

日にち	企画名	主催者／依頼者	場所
11月24日 (日)	あすばるフォーラム	あすばる男女共同参画フォーラム2013実行委員会	福岡県男女共同参画センター・あすばる



▲地球市民どなたく



▲国際理解教育セミナー

■ 「動く→動かす」地域連携強化プロジェクト

・実施内容

地方における国際協力の気運を高めるとともに国際協力のすそ野を広げ、「動く→動かす」やその加盟団体と各地方をつなぐ地域組織の発掘やネットワークの構築を目指して「動く→動かす」が行っている地域連携強化プロジェクトに協力し、「障害の視点で考える国際協力と開発目標 MDGs～取り残される人のいない社会を目指して」と題したセミナーを開催しました。

日時：2014年3月1日（土）14:00～17:00

会場：リファレンス駅東ビル F会議室

参加者：5名

講師：田丸敬一郎さん（（特活）DPI（障害者インターナショナル）日本会議）

・成果／課題

開発途上国における障害者の現状、課題、その取り組みについて学びました。途上国における障害者の暮らしや課題、国連ミレニアム開発目標と障害者の人々の状況改善の関係、ポストMDGsと障害とい



▲セミナーの様子

う視点の関係性などを参加者と共に考えることができました。

■ 講師派遣・アレンジメント

・実施内容

大学や高校での授業、他団体の取組・企画に FUNN 職員などを派遣、および派遣の調整を行いました。2013 年度は下記の授業・企画に FUNN 職員を派遣することができました。

日にち	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	講師
7月1日(月)	国際協力実践論	九州国際大学	九州国際大学	多原真美
7月6日(土)	なし	福岡県立大学	福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」	多原真美
8月29日(木)	NPO・NGO 入門	福岡女学院大学	福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」	多原真美
10月15日(火)	国際政治学演習	九州大学	九州大学	本田正之

・成果／課題

例年に引き続き受託した授業もありますが、2013年度初めて受託した授業もあり、新たなる学生に FUNN や NGO について知ってもらう機会を作ることができました。しかし、今年度の講師派遣は大学のみであり、高校や中学などからの依頼を受けることができませんでした。今後は積極的に大学以外にもアプローチをしていくことが必要とされます。

■ 大学での授業の担当

・実施内容

佐賀大学「国際協力論」において事務局長の原田君子が非常勤講師となり、下半期週1回（計15回）の授業を担当しました。

・成果／課題

今年度の受講生は43名と、2012年度同様多くの学生に興味を持って受講してもらうことができました。また、授業を受けている学生からの相談に応じたり、授業外の活動において講師として招いていただくなどの効果も見られました。

■ NGO 合同説明会

・実施内容

西南学院大学と共催で、学生と NGO の接点・関わるきっかけを作ることを目的とし、複数の団体の活動を一度に聞くことのできる機会として7月17日（水）に開催いたしました。当日は NGO に関する講座と、加盟団体によるブース説明会を行いました。

・成果／課題

FUNN と加盟団体9団体の計10団体が出展し、90名の学生に参加いただくことができました。92%の学生に大変満足・満足といった評価をいただき、説明会后、各加盟団体の活動にも参加したという声も聞く事ができました。



▲講演の様子



▲ブース説明会の様子

■ 平成25年度地域国際化ステップアップセミナー「グローバル時代の国際協力と地域づくり～NGOと自治体の協働と市民参加～」

・実施内容

(財)自治体国際化協会(市民国際プラザ)との共催で、「グローバル時代の国際協力と地域づくり～NGOと自治体の協働と市民参加～」と題したセミナーを開催しました。これは、NGOと自治体が協働する意味や効果、これからの協働の可能性について考えることで、協働のさらなる発展についてみんなで考える機会とすることを目的に開催しました。

日時：2014年1月25日(土) 13:00～17:30

会場：GGソーラービル 大・中会議室

講師：八木浩光さん(一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 事務局長)、坪根千恵子さん(福岡県国際交流局交流第一課 企画主幹)、小川恵美子さん(NPO法人ソルト・パヤタス 事務局長)、藤井大輔さん(九州国際大学国際関係学部准教授)、境康晴さん(大牟田市市民協働部地域コミュニティ推進課 主査)、原美佳さん(大牟田市企画総務部総合政策課 主査)、田中優子さん(大牟田市市民協働部生涯学習課 主査)、椿原恵さん(コミュニティコミュニケーション・サポートセンター 代表)

参加者：66名



▲基調講演の様子



▲まとめの全体会

・成果／課題

FUNNとして初めて「NGOと自治体の協働」をテーマにセミナーを開催し、県内・県外からのご参加もいただき、自治体、NGO/NPO、国際交流協会、学生や教員など多くの皆さんにご参加いただくことができました。来場者アンケートからは、「他のセミナーと異なり、詳しいところまで聞くことができたので良かったと思います」「とても面白いセミナーでした。参加して良かったと思っています」「市予算で遠方に行く予算がないため、近場で開催されるセミナーがこのように開かれたことはとても良かったと思います」などの評価をいただきました。

今回のセミナー開催をゴールとせず、こうして出会い繋がり会えた機会を活かし、NGOと自治体が互いを知ることや信頼を構築していく取り組みを一步ずつ進めていきたいと考えています。

■ JICAとの連携

・実施内容

JICA九州や、国際協力推進員と日頃から連絡を取り、関係構築に努めました。九州の推進員が集まる推進員会議にも参加し、FUNNの活動やNGO相談員制度の紹介、協力の可能性等について話し合いを行いました。

・成果／課題

平成25年度第2回NGO相談員連絡会議では、「相談員と国際協力推進員の連携」をテーマとした事例紹介を福岡市と長崎の推進員に依頼、発表していただくことができました。

■ 「動く→動かす」(GCAP Japan)

・実施内容

「世界から貧困をなくそう」「ミレニアム開発目標を達成しよう」という声を政策提言やキャンペーンにいかしていくために設立されたNGOのネットワークに、引き続きフレンズ会員として参加しました。

・成果／課題

2013年度は「動く→動かす」からの依頼により、地域連携強化プロジェクトを開催することができました。

■ 地域ネットワーク活動

・実施内容

福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」、福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）、福岡市人権啓発センター（ココロンセンター）、福岡県国際交流センター、福岡県NPO・ボランティアセンター、福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」などFUNNが加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図りました。

「びおフェスタ」、「NPOかばんもち」(あすみん企画)、「あすみん評価委員会」、「あすみん10周年記念誌」、なんとかしなきゃ！プロジェクト意見交換会などに参加・協力を行いました。



▲びおフェスタ

・成果／課題

日常的に連絡を取り合ったり、定期的に各施設を訪れることで、良好な関係を構築することができました。「国際協力と言えばFUNN」という認識も生まれつつあるようで、国際協力に関する相談や問い合わせを受けたり、国際協力業界としての考えを求められたりすることが増えています。

③ CSR事業及び企業との連携

■ NGOと企業の連携推進ネットワーク

・実施内容

NGOと企業の相互理解を促進し、より良い効果的な連携・協働が実施されることを目指して活動している「NGOと企業の連携推進ネットワーク」（事務局：（特活）国際協力NGOセンター）に加盟しました。

・成果／課題

2012年度に開催した「NGOと企業の連携シンポジウム～つながることから社会を変える～」において発表した「九州版：NGOと企業の連携推進ネットワーク」とその活動（勉強会）ですが、実施することができませんでした。

1-4. 広報活動の支援・実施

1-4-1. 2013年度の方針

FUNNと加盟団体の広報支援活動を行うことで、国際協力（FUNNや加盟団体）に関わる人材を増やし、FUNNの活動や加盟団体の活動の活性化につなげることを目指します。

1-4-2. 2013年度の活動

① FUNNの広報活動

■ HPIリニューアルに向けての活動

・実施内容

2013年度が20周年ということもあり、ビジョン・ミッション、これから市民に何を伝えていくべきか？などをFUNN全体で考えた後、ホームページの内容を検討していく予定でしたが、実施することができませんでした。2013年9月にホームページのドメインとサーバーを変更しました。

・成果／課題

HPIリニューアルに向けた活動はここ2～3年にわたって議論を行ってきましたが、リニューアルに伴う資金と検討の時間が確保することができず、実現に至っていません。

■ 国際協力ニュース

・実施内容

今年度は年4回の作成・発行を実施し、より一般の方に読んでもらえるような広報誌を目指し作成しました。4月号を20周年記念号とし、「これまでの歴史を振り返り、今後を考える」という紙面内容において、ページ数を16ページに拡大し、作成を行いました。

・成果／課題

2013年度は広報担当インターンが見つからず、職員1名で業務に当たったため、紙面の企画、編集等の作業が職員一人に偏り、発行スケジュールに遅れが生じてしまいました。次年度以降はインターンやボランティアにも協力をしてもらいながら活動にあたっていくことが求められます。

■ リーフ・メルマガ・ウェブ

・実施内容

FUNN紹介のリーフレットについて、加盟団体の情報を掲載した印刷物の情報アップデートを行い、会員・関係団体への送付、公共機関への設置依頼、講座・イベントなどでの配布を随時行いました。

・成果／課題

適宜情報をアップデートし、配布をすることができました。

1-5. 20周年記念事業

1-5-1. 2013年度の方針

2013年9月に設立20周年を迎えるのにあわせ、これまでを振り返り、これからの活動について検討していきます。

1-5-2. 2013年度の活動

① ビジョン／ミッションの策定

■ 福岡県「認定取得促進事業」ファンドレイジング個別支援

・実施内容

福岡県主催、NPO法人アカツキが企画・運営を行う「ファンドレイジング個別支援」に、設立20周年記念事業における寄付金の集め方（ファンドレイジングスキルやアイデア）をテーマに申請しました。その後、アカツキとの協議・FUNN理事会での議論の結果、組織の役割分担と責任の明確化を行うことに変更し、理事・事務局職員へのヒアリングや会議を複数回実施しました。

・成果／課題

NPOの中間支援と協力しながら、組織の役割分担や責任の明確化、職員の行動指針を作成できました。作業では、理事を巻き込みながらFUNNのこれまでの活動や役割、目指すビジョンなどの話をすることができ、理事と職員の考え、方向性の共有ができたことは一つの成果でした。また、職員が事業などを検討したりFUNNの方向性を確認する際に必要となる行動指針（「人と世界をつなぐ」「NGOに関わる人と人をつなぐ」「NGOと他セクターをつなぐ」）を成果物として作成することができました。

一方で、職員と理事の情報共有が不足していたり、連絡の間隔が空いてしまったりすることがありました。また、今回作成した行動指針を今後の活動に活かしていくことが求められます。



▲個別支援の様子

② 20周年記念事業

■ 20周年記念事業

・実施内容

FUNN設立20周年を記念して、理事・加盟団体関係者を中心とした記念祝賀会を2013年11月10日（日）に開催しました。

・成果／課題

理事、加盟団体関係者、元インターンなどの計19名にご参加いただき、FUNNの活動への理解・協力の感謝の気持ちをお伝えすることができました。



▲ 記念撮影

③ 中期計画（2014-2016年）の策定

・実施内容

ビジョン／ミッションの策定、20周年記念事業などを踏まえて、2014-2016年までの活動方針を定めた中期計画を策定する予定でしたが、実施することができませんでした。

2 財政基盤の強化

2-1. 財政基盤を強化し、事業活動の継続・発展

2-1-1. 2013年度の方針

財政基盤の強化を目指して 2011年度に検討・作成された方策や資料をもとに、それらを達成するための活動に取り組みます。なかでも、寄付や会員を獲得するための活動を中心的に実施していきます。

2-1-2. 2013年度の活動

① 会員の獲得

■ 会員獲得に向けた対外的活動の実施

・実施内容

20周年記念として、会員や寄付を獲得するための活動に取り組む予定でしたが、十分に実施することができませんでした。

② 寄付・助成金の獲得

■ 寄付の獲得に向けた対外的活動の実施

・実施内容

2013年9月24日（火）に代表の二ノ坂保喜と事務局長の原田君子が宗教法人真如苑を訪問し、活動報告と寄付依頼を行いました。

・成果／課題

2013年度も継続してご寄付をいただくことができました。

■ 認定NPO法人申請の検討

認定NPO法人申請を意識し、寄付や賛助・通信会員獲得のための活動に取り組む予定でしたが、十分に実施することができませんでした。

3 組織・運営の強化

3-1. 人材の確保・育成、組織運営の基盤強化

3-1-1. 2013年度の方針

2013年度も引き続き、組織を整え、その運営や発展に資する人材確保・育成の為の施策を行うことで、望ましい組織運営を目指していきます。

3-1-2. 2013年度の活動

① 人材確保・育成の為の施策

■ インターン

・実施内容

2013年5月～2014年3月末まで、「国際協力に関する学習機会の提供／他機関・組織との連携・協働」「広報」の活動に携わるインターンをそれぞれ1名ずつ募集し、大水希望さんを採用しました。また、(特活)バングラデシュと手をつなぐ会事務局の原澤陽介さんを短期インターンとして受け入れました。

・成果／課題

2013年度は1名のみでの応募に止まり、広報インターン不在による業務への支障が見られました。一方で、大水さんはインターン終了後にスリランカに留学が決定し、現在はインターンでの経験を活かして現地活動に励んでいます。



▲大水希望さん

■ ボランティア

・実施内容

国際協力やNGOの活動に関心のある方をFUNNのボランティアとして受け入れたり、個別相談に応じて疑問質問を解消していただいたり、加盟団体等の紹介などを行いました。

・成果／課題

2013年度は、ボランティアの募集・対応への時間を確保することができず、ボランティアが活動する機会が大幅に減少してしまいました。

■ あすみん「かばんもち」

・実施内容

NPO団体のメンバーと大学生が数日間行動を共にし、それぞれの団体の問題意識や日常業務の緊張感、NPO活動の厳しさなどを肌で体験もらう短期密着型インターンシップ「かばんもち」の受け入れに協力しました。森田沙希さん（九州産業大学）、橋本和樹くん（久留米大学）の2名が職員の本田正之のかばんもちを行いました。

・成果／課題

かばんもちを通してNPOで働くということに触れていただき、NPOへの就職や働き方などの視点を提供することができました。普段はかばんもちよりも期間が長いインターンの受け入れを行っているため、短期間での効果的な対応を考えさせられ、現在FUNNが実施しているインターンを見直すきっかけにもなりました。

② 組織運営の基盤強化

■ NPO実践マネジメント通信講座

・実施内容

社会的課題の解決に取り組むNPOや社会的事業体のマネジメント全般に関する基礎的な知識を身に付ける通信講座を受講しました。「ミッション・ベースト・マネジメント」「中期計画」「広報戦略」「非営利組織の評価」の4科目を選択しました。

・成果／課題

テストの結果、4科目全てにおいて合格点を取ることができました。学びの内容を職員で共有することで、FUNNへの蓄積を図ることができました。

4.組織

4-1. 組織運営・体制

日常的な業務は事務局が担当しつつ、必要に応じて相談やアドバイスを行う運営理事会を設置しました。二ノ坂保喜、藤井大輔、高橋良輔、楠原圭子、原田君子によって構成しました。

役員

【代表】 二ノ坂保喜／（特活）バングラデシュと手をつなぐ会 代表

【副代表】 藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学国際関係学部
准教授

高橋良輔／認定NPO法人地球市民の会 理事、佐賀大学文化教育学部准教授

【理事】 大谷賢二／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事長

河上雅夫／NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク 理事長

川原秀之／くるんて〜ぷの会 代表

楠原圭子／アジア開発銀行福岡NGOフォーラム 事務局

瀧本昌平／債務と貧困を考えるジュビリー九州 事務局長

原田君子／（特活）NGO福岡ネットワーク 事務局長

弥栄睦子／インドネシアの子供の教育を救う会 副会長兼事務局長

【監事】 安部昌明／（特活）明日のカンボジアを考える会 代表

《事務局》 事務局長 原田君子

事務局員 本田正之、多原真美

会計 岩本直子

インターン 大水希望、原澤陽介（短期）、森田沙希・橋本和樹（かばんもち）

■通常総会：2013年5月25日（土）福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室

■通常理事会：5月1日（水）、6月25日（火）、7月26日（金）、10月31日（木）、2月17日（月）、3月27日（木）

■運営理事会：9月18日（水）、10月13日（日）、1月11日（土）、1月28日（火）、3月11日（火）

■事務局会議：毎週水曜日

4-2. 会員

正会員（全23団体）

アジア開発銀行福岡NGOフォーラム（FNA）
（特活）アジア女性センター
（特活）明日のカンボジアを考える会
アフリカくらぶ
インドネシアの子供の教育を救う会
認定NPO法人ACE
（特活）エスペランサ
（財）カンボジア地雷撤去キャンペーン
くるんて〜ぶの会
コミュニティ コミュニケーション・サポートセンター（Commu）
債務と貧困を考えるジュビリー九州
JVC九州ネットワーク
Save the African Children
（特活）ソルト・パヤタス
認定NPO法人地球市民の会
NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
（特活）NICE
ネパール歯科医療協力会（ADCN）
（特活）バングラデシュと手をつなぐ会
バングラディッシュピルガゾン村診療所実行委員会
PP21ふくおか自由学校
（財）福岡YMCA
フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC九州）

個人会員

賛助会員（個人） 10名
賛助会員（団体） 0
通信会員 28名

以上